



いみづ 市議会だより

No.33

平成26年1月31日発行

E-mail gikai@city.imizu.lg.jp

● 発行／射水市議会
 ● 編集／議会広報編集委員会
 〒934-8555
 富山県射水市本町二丁目10番30号
 TEL(0766)82-11950
 FAX(0766)82-8308



“無火災へ心意氣”消防署員によるはしご登り

市議会のうごき

1月

30 日 民生病院常任委員会
 24 日 議会広報編集委員会
 23 日 議会運営委員会
 全員協議会

12月

20 日 港湾振興特別委員会
 議会運営委員会
 本会議
 19 日 産業建設常任委員会
 民生病院常任委員会
 予算特別委員会
 18 日 議会運営委員会
 17 日 予算文教常任委員会
 16 日 予算特別委員会
 13 日 議会運営委員会
 12 日 本会議（代表質問）
 全員協議会
 9 日 議会運営委員会
 本会議

11月

29 日 [臨時会] 本会議
 議会運営委員会
 総務文教常任委員会
 民生病院常任委員会
 産業建設常任委員会

28 日 議会運営委員会
 19 日 議員懇談会

議会新体制！22人でスタート

市議会の新しい議員が決まりました。

任期は平成25年11月27日から平成29年11月26日までの4年間です。

就任ごあいさつ

昨年11月臨時会におきまして、射水市の第9代目の議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、本市の財政状況につきましては、引き続き厳しい状況が続くものと思われますが、今後も国の経済動向を注視しながら、防災・減災対策や少子高齢化対策など、適切に対策を講じていかなければならぬと考えております。

昨年11月の市議会議員選挙において、議員定数を4人削減し、22人といたしました。今後は、議員が結束し、開かれた分かりやすい議会運営を行なながら、積極的な政策提言と無駄のない行政への監視機能の充実を図っていきたいと考えております。

合併10周年を迎える2015年には、長年の念願でありました北陸新幹線が開業し、また、本市をメイン会場として全国豊かな海づくり大会が開催されるなど、射水市にとって大きな追い風を受けております。本市の魅力である豊かな自然を大切にするとともに、そこから生まれる恵みと潤いを広く内外に発信し、射水市の限りない発展を目指してまいります。

市民の皆様のご期待に応えられるよう、誠心誠意努めてまいりますので、変わらぬご指導とご協力を心からお願い申し上げます。



奈田 安弘 議長

議席 ⑯ (3期)

住所／二口

会派／自民議員会



伊勢 司 副議長

議席 ⑨ (3期)

住所／三ヶ

会派／自民議員会

～新しい委員会構成～

総務文教常任委員会
(8人)

〈委員長〉四柳 允 〈副委員長〉石黒 善隆
〈委員〉島 正己、澤村 理、伊勢 司、古城 克實、赤江 寿美雄、高橋 久和

民生病院常任委員会
(7人)

〈委員長〉津田 信人 〈副委員長〉山崎 晋次
〈委員〉不後 昇、堀 義治、菊 民夫、竹内 美津子、小島 啓子

産業建設常任委員会
(7人)

〈委員長〉高橋 賢治 〈副委員長〉中村 文隆
〈委員〉瀧田 孝吉、吉野 省三、奈田 安弘、横堀 大輔、津本 二三男

議会運営委員会
(6人)

〈委員長〉堀 義治 〈副委員長〉菊 民夫
〈委員〉山崎 晋次、石黒 善隆、吉野 省三、津田 信人

港湾振興特別委員会

〈委員長〉高橋 久和 〈副委員長〉澤村 理
〈委員〉議長を除く全議員

予算特別委員会

〈委員長〉吉野 省三 〈副委員長〉不後 昇
〈委員〉議長を除く全議員



④ 澤村 理 (2期)

住所／神楽町
会派／無所属



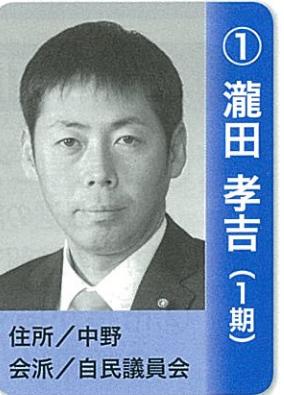
③ 中村文隆 (2期)

住所／三ヶ
会派／自民議員会



② 島 正己 (1期)

住所／川口
会派／自民議員会



① 瀧田 孝吉 (1期)

住所／中野
会派／自民議員会



⑧ 吉野省三 (3期)

住所／野村
会派／自民議員会



⑦ 不後 昇 (2期)

住所／鷺塚
会派／無所属



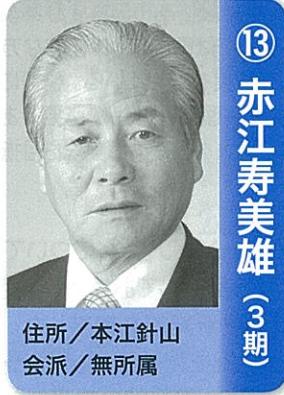
⑥ 石黒善隆 (2期)

住所／庄川本町
会派／自民議員会



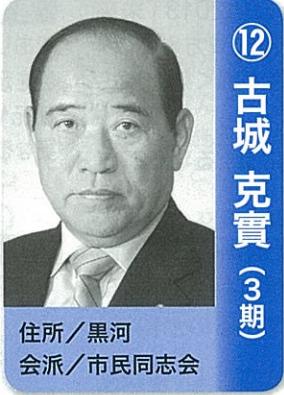
⑤ 山崎晋次 (2期)

住所／黒河
会派／自民議員会



⑬ 赤江寿美雄 (3期)

住所／本江針山
会派／無所属



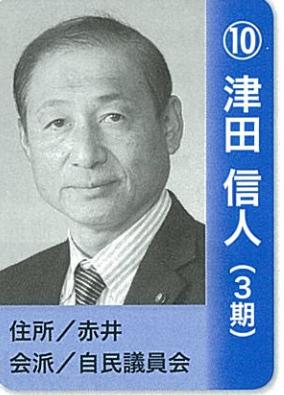
⑫ 古城克實 (3期)

住所／黒河
会派／市民同志会



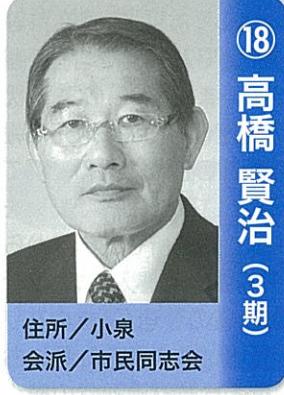
⑪ 堀 義治 (3期)

住所／片口久々江
会派／自民議員会



⑩ 津田信人 (3期)

住所／赤井
会派／自民議員会



⑯ 高橋 賢治 (3期)

住所／小泉
会派／市民同志会



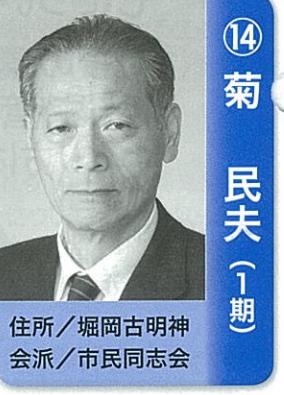
⑰ 竹内美津子 (3期)

住所／小島
会派／自民議員会



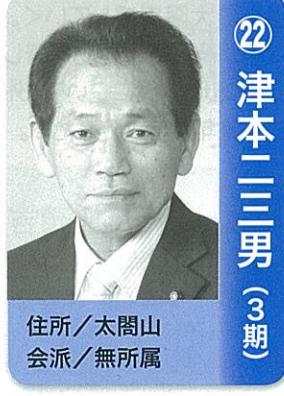
⑯ 高橋 久和 (3期)

住所／串田
会派／自民議員会



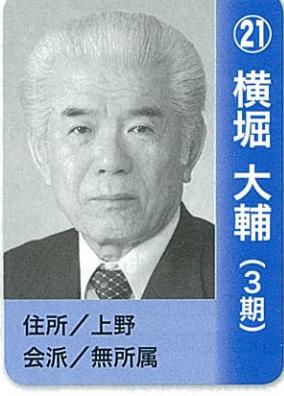
⑭ 菊民夫 (1期)

住所／堀岡古明神
会派／市民同志会



㉑ 津本一三男 (3期)

住所／太閤山
会派／無所属



㉑ 横堀大輔 (3期)

住所／上野
会派／無所属



㉑ 小島 啓子 (3期)

住所／中太閤山
会派／無所属



㉑ 四柳 允 (3期)

住所／作道
会派／自民議員会

代表質問

- ▶ ①市長選について
 - (1) 市長選の総括
 - (2) 開票速報での感想
- ②市長が描く射水市の将来は
- ③斎場建設問題について

【自民議員会】
四柳 允 議員



代表質問

- ▶ ①今後の財政見通しについて
- ②今後の環境施設の維持管理運営の在り方について

【市民同志会】
高橋 賢治 議員



問①-(1) 市長選挙に対する市長の思いを伺う。

答 ▶▶▶ 小中学校やコミュニティセンターなど公共施設の耐震化、医療費助成年齢の中学生までの引上げや保育料の第3子以降の無料化、さらには大型コールセンターの誘致、市民協働のまちづくりの推進など射水市の未来に対する思いが評価をいただいた一方で、私の考え方方が市民に正確に伝わっていないことも痛感した。今後とも、市民と行政との意思疎通に努力し新しい射水市の構築に全力を尽くす。

問①-(2) 市長の選挙事務所には、入札参加業者や市の助成を受け企業運営をされている方も見受けられた。今後の市政運営では公私の区別をつけていただきたい。

答 ▶▶▶ 市長の公職に就いてからは、公平公正で私心のない市政運営に努めてきた。今後とも原点を忘れず「信頼される市政、安心される市政」を旨とし、自らを厳しく律してまいりたい。

問②▶▶▶ 市長の政策公約2013「未来への責任」や26年度予算編成方針での4つの重点政策など、市長が描く射水市の将来について見解を伺う。

答 ▶▶▶ 市制10周年に当たる平成27年

度には、新幹線の開業、豊かな海づくり大会の開催、大規模コールセンターの進出など、飛躍の絶好の時期にあり、「時の利、地の利、人の利」を結集し市民に自信と誇りを持っていただき魅力あるまちづくりを進めたい。また、総合計画見直し方針に掲げる「人口減少、少子・高齢化に対応したまちづくり」では、総合的な人口増対策に、「地域資源を活かしたまちづくり」では、地域交通体系の見直しやにぎわいの創出、企業誘致等による産業の活性化等に取り組むほか「災害に強いまちづくり」「環境にやさしいまちづくり」の4つの重点政策を推進する。新年度の大型プロジェクトとして、庁舎整備や小中学校の耐震化整備、防災行政無線整備、消防救急無線のデジタル化や市民病院診療棟改築などに取り組む。

問③▶▶▶ 斎場建設は、具体的な計画を立て、議会と当局がともに汗をかき事業を推進していくなければならないと思うが考えを伺う。

答 ▶▶▶ 斎場建設は本市の重要懸案事項であり、本年度中には市として具体的な方向性を示せるよう作業を進めている。整備には、地元や周辺住民の理解と合意が必要であり、更なるご理解ご協力を得て早期実現を目指す。

問①▶▶▶ 平成24年度決算の結果を踏まえ、今後の財政見通しはどう変化していくと見込んでいるのか伺う。

答 ▶▶▶ 市総合計画と並行し、中長期財政計画の見直しに取り組んでおり、来年度中には各種財政指標の推移を含む今後10年間の財政見通しを示したい。また、実質公債費比率については、現在15.6%で当面大幅な変動はなく、起債許可団体にはならない見通しである。将来負担比率についても、早期健全化基準である350%未満を堅持できるものと見込んでいる。今後も引き続き、財政指標の動向を検証し、財政負担の軽減に全力を取り組み、行財政改革集中改革プランの取り組みを着実に推進していきたい。

問②▶▶▶ これまでのクリーンピア射水における長期包括運営業務委託について、どのように検証しているのか。民間活力による効率的な維持管理運営の手法として有意義なものだと認識しているが、野手埋立処分所においても同様の業務委託を導入するに至った経過、また、その他環境施設の今後の管理と運営の在り方についても所見を伺う。

答 ▶▶▶ クリーンピア射水については、平成20年度から実施しており、今年度から更に5か年の更新契約を締結した。これまでの管理状況を見ると、設備の予防保全を的確に行い、突発的な故障に対しても迅速に対応しており、有害物質等の排出もなく、安全で効率的な管理・運営がなされてきた。また、ごみの搬入状況や排気ガスの測定値も随時、地元に報告しながら施設周辺の皆様の理解を得てきたものと認識している。こうした実績を踏まえて、野手埋立処分所も来年度から長期包括運営業務委託を導入したい。その他環境施設の今後の管理・運営の在り方については、見直し中の総合計画において、簡素で効率的な行財政運営の観点から、民間活用を最大限考慮していく。特に、建設後32年が経過し老朽化が著しい粗大不燃物ごみ処理施設について、外部委託化の検討を来年度に実施したい。

その他の質問

- ◆政策公約2013について
- ◆新年度予算編成方針と重点施策について
- ◆国民健康保険者の都道府県移行に向けた取り組みについて
- ◆火災件数増加に伴う防災対策と啓発について

一般質問

皆さんの生活にかかわる大切な事柄について、市長その他の執行機関から報告や説明を求めました。内容をダイジェストで紹介します。

一般質問

▶ 人口減少させないまちづくりを

- ①第2子の保育園及び幼稚園保育料の無料化
- ②働く場所の確保と企業誘致
- ③魚職人育成アカデミー事業とまちの賑わい

赤江寿美雄 議員



一般質問

▶ ①観光客向け宿泊施設の誘致について

- ②今後の観光利用も含めた公共交通の在り方について

山崎晋次 議員



一般質問

▶ ①太陽光発電について

- ・市内での設置状況
- ・遊休地の活用
- ・緑の贈与制度の影響

- ②全国学力テストの学校別成績の公表解禁について

吉野省三 議員



問① 若い人が結婚し、子どもを育てることは、大変な決断がいる。子どもは射水の宝であり、子育てに親の負担を少なくすることが重要な政策である。この4年間に、保育園及び幼稚園保育料の第2子を無料化し、子どもを生み育てるなら射水市としたいと考えるが見解を伺う。

答 今年度から第3子以降の保育料を無料化し、その効果の検証が必要。また、新たに約3億円が必要であり、持続可能な制度として、実施は非常に難しい。

問② 企業は太平洋沿岸の巨大地震を中心配している。内部蓄積金も最大であり、成長産業への積極的な設備投資先に、自然災害の少ない富山県・港をもつ射水市に注目している。人の働く場所と市の財政に大きく貢献する企業誘致の受け入れについて伺う。

答 工業用水・上下水道の利用が可能であり、引き続き企業進出も念頭に、新しい工業団地のあり方も検討したい。労働力は大卒予定者の就職説明会や企業説明会で確保できると考える。移住労働者には、県下トップクラスの子育て支援策もあり、若い世代の移住にも対応したいと考える。

問③ 魚職人育成アカデミー事業は、まちの賑わい、魚文化の継承と発信、人の育成に貢献すると考えるが、今後の事業展開と支援について伺う。

答 この事業は、将来本市で独立・創業し、地場食材を生かした新鮮な魚を提供できる料理人を育成するため、受入店舗と研修生を支援するもので、「射水の食」のイメージアップにつなげていきたい。

問① 北陸新幹線開業によって、観光も兼ねたリゾート地として射水市は最高の環境と考える。滞在型の観光を推進するためにも、ゴルフ、マリンスポーツ、新鮮な魚介類など、射水市の魅力を有機的に連携させたパッケージを提供するとともに、宿泊施設を小杉インターパークに誘致してはどうかと考えるが見解を伺う。

答 交通の要衝として、市内各地への移動もスムーズであり、貴重な提案であると考えている。現在、小杉インターパークの開発計画については、大型商業施設の誘致を検討している場所以外は全く白紙の状態であり、ホテル運営会社を引き付ける助成制度の充実を検討し、ベイエリアへの宿泊施設の誘致に取り組みながらもご意見を参考に、小杉インターパークの土地利用についても並行して検討したい。

問② 循環バスプランについて、現行の南北主軸の通勤・通学路線から日常生活に密着した拠点・結節点及び観光拠点を結ぶ環状線循環運行とすれば、利便性が向上するとともに、観光周遊バスに利用できると考えるが、早急な取り組みについて見解を伺う。

答 路線設定については、住民の意見を参考に、通勤通学への配慮、病院、スーパー、公共施設などを結ぶことで可能な限り利便性を図っている。本市のまちづくりの動きを見据えて、通勤通学に特化したバス運行や海王丸パーク及びその周辺の観光地を周遊するバス運行の検討など更なる利便性を高める工夫をしてその実現に向けて取り組んでいきたい。

な增加が想定される「住宅用太陽光発電システム設置補助」については、国は平成25年度で終了するが、県や他市の動向を注視しながら適切なものとなるよう考えていく。

問② 11月末に文部科学省は、全国学力テストの実施要領を変更し、市町村教育委員会による学校別の成績公表を来年度から認めると発表しているが、本市の対応を伺う。

答 市全体の結果については、公表することを検討する。学校ごとの公表については序列化の弊害も懸念しており、小中学校長会の意見を聞き、教育委員会で慎重に協議し、方針を決定する。

その他の質問

- 民間社会福祉施設職員の不足と定期巡回・随时対応型訪問看護介護について

一般質問

▶ 真生会富山病院への コミュニティバス 増発について

津本二三男 議員



問》》 真生会富山病院の通院にコミュニティバスを利用している高齢者は少なくない。午前中に通院することが比較的多いことから、午前のバスを1時間に1本程度に増発できないか。

答》》 実現可能な範囲の中で、総合的な判断に基づき検討していく。

問》》 新庁舎建設工事の入札公告を行ったが、説明では継続費総額が現在の金額を超えるとのこと。継続費の補正なしでの工事入札は中止すべきではないか。

答》》 事業の一部を先送りしたものであり、地方自治法に規定されているように長の執行権の範囲内であると解されている。

問》》 庄川等の洪水が起きた際は、新庁舎付近は50cm~1mの浸水になると予測されている。残る大島、布目庁舎付近でも1~2mと予測されている。大洪水が起きた際の防災拠点はどうするのか見解を伺う。

答》》 地震にくらべ事前に予測でき、初動体制は取りやすい。新庁舎に浸水等が発生した場合でも拠点の機能は果たせると考えている。万一、新庁舎で機能が果たせない場合は、適切に他の施設等に拠点を移す。

その他の質問

- 市民負担の軽減について
- 住宅リフォーム助成について

一般質問

▶ ①交通政策基本法による市のビジョンは (1)市の交通政策への 影響について (2)パーク＆ライドの 推進について ②「放課後児童クラブ」 の拡大について

古城 克實 議員



問①-(1)》 先の臨時国会で「交通政策基本法」が成立したことにより、国、地方自治体、事業者等が少子高齢化への対応やまちづくり、観光等の地域活力の向上、大規模災害時の対応や環境負荷低減の観点から必要な施策を推進していくことが求められることから市への影響を問う。

答》》 今後、国において交通政策基本計画が策定され、各種政策が示される中で、本市プランに反映すべきものがあれば活用していくが、あくまでも市民ニーズを見据えて、適切に本市の交通施策を進めてまいりたい。

問①-(2)》 パーク＆ライドによる公共交通の利用促進については、地域の公共交通を確保するとともに環境負荷の低減につながる大切な取組であることから、駐車場の拡大整備を図られたい。

答》》 パーク＆ライドの推進については、環境負荷の軽減だけではなく、市内駅及びその周辺の活性化を進める上でも極めて重要であり、関係機関と連携を深め、実現にむけて取り組んでまいりたい。

問②》》 児童福祉法の改正により、対象児童が小学校3年生から6年生までに拡大される。今後のスケジュール及びハード・ソフト両面の課題について問う。

答》》 26年度中の条例制定の作業の中で開級日、開級時間に加え指導員の人事費等運営の基本に係る利用料金など内容の統一化を図り、平成27年度からの実施に備えたい。児童の安全安心を確保するため、必要な改善に努め、受入体制を整備していく。また、市が責任をもち指導員の確保と質の向上を図っていく。

一般質問

▶ ①効率的な保険事業による 医療費の適正化について ②雑誌スポンサー制度の 導入について ③タブレットを活用した 反転授業の推進について ④ワンコイン検診の導入による がん検診受診率の向上に ついて



不後 昇 議員

問①》》 保険事業をより効果的に実施するためには、レセプトや健康診断情報等を活用したデータヘルス計画の作成が重要と考えるが見解を伺う。

答》》 国保データシステムは、現在、導入の準備をすすめており、データヘルス計画の作成については、国の動向に合わせ、適切に対応したい。

問②》》 図書購入費の新たな財源の確保及び地元企業などのPRや市民サービスの向上につながる「雑誌スポンサー制度」の導入を図るべきと考えるが見解を伺う。

答》》 本市では、ボランティアグループの協力を得て、リサイクル本の活用を行っている。今後は、雑誌スポンサー制度を含め、市民の皆さんからの支援を受け入れる運営方法について、検討していきたい。

問③》》 タブレットを活用した反転授業は、児童の勉強への好奇心を育むとともに、意欲的に授業を受けられる効果もあると聞く。本市での導入について伺う。

答》》 予習の方法や課題の出し方等、工夫を踏まえた授業改善と保護者と連携した家庭学習の充実を図り、電子黒板や黒板などのIT機器を用いた教育指導を、より効果的に行えるよう努めるとともに、タブレット等の新しいIT機器の利用についても研究していく。

問④》》 ワンコイン検診の導入によるがん検診受診率の向上について伺う。

答》》 本市はこれまでがん検診受診率の向上を図るために様々な取り組みを行ってきている。今後とも、国・県や医師会等関係機関と連携しながら受診率向上に繋げていきたい。

一般質問

皆さんの生活にかかわる大切な事柄について、市長その他の執行機関から報告や説明を求めました。内容をダイジェストで紹介します。

一般質問

▶ ①自転車専用道路の整備について

②薬勝寺池公園の環境整備について ・薬勝寺池の水の浄化を

小島 啓子 議員



問①▶▶▶ 自転車に関する道路交通法が改正され、12月1日から自転車の路側帯通行が進行方向「左側」に限定となったが、実際は路肩側の幅は狭く、非常に危険な状況の中での法施行となる。市民の安全・安心を確保する観点から、また環境保全や健康増進という観点からも「自転車専用道路」の必要性を感じているが、現在の整備状況と今後の計画について伺う。

答▶▶▶ 自転車専用レーン等の整備は、県内でもまだ少なく、今後は市内でも利用者が多い幹線道路等において、専用レーンの設置や路肩拡幅などを関係機関等と協議し検討していく。

問②▶▶▶ 過去にも薬勝寺池公園整備工事の際に池干しを行ったことがあるが、実施から

既に長い年月が経過しており、落ち葉等の腐葉土が相当な量堆積している。再度、池干しを実施し、堆積物の除去を求める見解を伺う。

答▶▶▶ 薬勝寺池は、水質保全を目的に昭和59年に堆積物を除去し、池干しを行ってから約30年経過しており、堆積物は増加していると思われる。現在富山県立大学に専門的な見地からの助言をいただきながら、池の堆積物及び生物の生息状況について、現状を把握するための調査内容を協議しており、今後、堆積物分析調査を実施し、池干しも含めどのような方法がより適切なのかコスト面など総合的に検討する。

その他の質問

●高齢者対策について

定期巡回・随時対応訪問介護看護の体制整備を

一般質問

▶ ①国の成長戦略「農業改革」について

②北陸産業競争力協議会について

津田 信人 議員



問①▶▶▶ 国の成長戦略「農業改革」のうち、農業所得の倍増と農地集積について、農家に説明するための準備を伺う。

答▶▶▶ 農業の成長産業化に向けて、6次産業化、農産物の輸出促進等に取り組んでいく上で、販売事業を担う農協の果たすべき役割は極めて重要であることから、販路拡大に向けて、これまで以上に連携しながら、国の動向を注視し情報収集していく。農業の生産性を高めるため、担い手への農地集積・集約化が求められていることから、国はその中心的役割を担う機関として、「農地中間管理機構」を各都道府県に整備することとしている。先の臨時国会で関連法案が成立したことから詳細が明らかになると想えており、情報収集に努める。

問②▶▶▶ 産業競争力強化法が成立し、企業の経営者等をメンバーとする「北陸産業競争力協議会」が設置された。今後まとめられる内容に注視していくべきだと考えるが、見解を伺う。

答▶▶▶ 「ライフサイエンス産業」、「高機能新素材産業」、「産業環境の整備」の3分野について議論が進められることになっている。この3分野は、市産業の振興に大きく関わるものと考えられ、県や関係団体等と連携を取り、「北陸産業競争力協議会」の議論の進捗状況を注視し、また、国の大政等の情報収集を行い、本市産業基盤の強化や地域資源を活かした地域経済の活性化につなげていきたい。

その他の質問

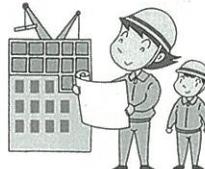
●ホワイトカラー・エグゼンプションについて

一般質問

▶ 建築工事費の増嵩について

①市発注の建築工事への影響について ②総合計画の実施計画の見直しについて

澤村 理 議員



問①▶▶▶ アベノミクス等の影響により、全国的に建築工事費が高騰しているが、今後の市発注の工事に消費税増税とともにどんな影響があるのか。また、今年度の入札不調の状況を問う。

答▶▶▶ 本市の工事の入札における不調・中止の状況は、11月末現在で14件である。その原因は、建築資材費及び労務費の高騰であると考えている。

今後の公共工事の発注に与える影響は、消費税増税や東日本大震災の復興需要が進んでいないこと、東京オリンピックに向けたインフラ整備等が控えていることから、今後とも技能労働者不足や建築資材費の高騰などが予想される。

これらの影響により、今後の市発注公共工事の事業費においても増嵩が考えられることや、当初計画していた完成時期

の遅れも懸念される。市としては、専門技術者の状況を見極めた工事発注の平準化や、設計内容・施工方法等についても十分精査し、事業費の抑制に努めたい。

問②▶▶▶ 現在見直し作業を進めている総合計画の実施計画の修正について問う。

答▶▶▶ 建築工事費の増嵩分については、現在の実施計画に反映されていないことから実際の金額と計画額に齟齬が生じている。現在、総合計画の見直し作業を進めており、基本構想及び基本計画の策定後、実施計画の見直し作業に着手する予定としており、その際には、増嵩分を考慮した上で、中長期財政計画との整合性を図りながら見直してまいりたい。

一般質問

- ▶ ①射水市消防団について
②インフルエンザ予防接種について

瀧田 孝吉 議員



問①▶ 射水市消防団において、各分団の定員数の見直しや再配分が必要だと考えるが、見解を伺う。

答▶ 市消防団の各分団定員数については、合併時に旧市町村の消防団それぞれにあった長い歴史や伝統の中で定められたとの認識から引き継いだものである。全国的に消防団員数が減り続けている中、国や県は、現団員数の維持増強を図るべく団員確保キャンペーンを行い、各消防団にもそれに伴う施策の推進を呼びかけている。また、地域振興会の安全部や地区の自主防災会の中核を担う分団も多いことから消防団幹部や各地域振興会の意向も踏まえ、本市では団の定員757人を減らすことなく、分団間の調整を図る必要があるものと考えている。

問②▶ 13歳未満の幼児・児童にかかるインフルエンザ予防接種費用に対して一部補助できないか、見解を伺う。

答▶ 予防接種は自由診療であるため料金は医療機関の自由裁量で決めることができ、1回あたりの費用は市内で概ね2千円から4千円程度であると把握している。本市では子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、対象は3歳までだが任意予防接種にも利用できる子育て応援券（第1子・第2子は1万円、第3子以降は3万円）の利用を勧めている。流行が予想されるウイルスに対するワクチンを毎年接種するので効果が限定的であるため、一部公費助成について現時点では困難であると考えるが、今後については国や県内他自治体の動向を注視していく。

11月臨時会（会期 1日間 11月29日）

12月定例会（会期 12日間 12月9日～12月20日）

定例会では、平成25年度射水市一般会計補正予算など13議案を議決しました。

議決結果一覧表（平成25年11月射水市議会臨時会）

【議員提出議案】

番号	件名	議決の結果
第3号	射水市議会委員会条例の一部改正について	可 決

【同 意】

番号	件名	議決の結果
第2号	監査委員の選任について	同 意

【選 挙】

番号	件名	議決の結果
第1号	議長の選挙	—
第2号	副議長の選挙	—
第3号	富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	—

〔人事案件〕 監査委員 竹内 美津子

〔選挙の結果〕 議長 奈田 安弘、副議長 伊勢 司

富山県後期高齢者医療広域連合議会議員 奈田 安弘、夏野 元志

議決結果一覧表（平成25年12月射水市議会定例会）

【議 案】

番号	件名	議決の結果
第81号	平成25年度射水市一般会計補正予算（第4号）	可 決
第82号	平成25年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可 決
第83号	平成25年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	可 決
第84号	平成25年度射水市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可 決
第85号	平成25年度射水市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
第86号	平成25年度射水市下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
第87号	平成25年度射水市病院事業会計補正予算（第2号）	可 決
第88号	射水市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	可 決
第89号	射水市債権管理条例の制定について	可 決
第90号	射水市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
第91号	射水市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	可 決
第92号	射水市営住宅条例の一部改正について	可 決
第93号	指定管理者の指定について（市営住宅等）	可 決

【同 意】

番号	件名	議決の結果
第3号	教育委員会委員の任命について	同 意
第4号	教育委員会委員の任命について	同 意
第5号	監査委員の選任について	同 意
第6号	監査委員の選任について	同 意
第7号	公平委員会委員の選任について	同 意

【諮 問】

番号	件名	議決の結果
第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	異議なき旨答申
第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	異議なき旨答申
第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	異議なき旨答申

【選 挙】

番号	件名	議決の結果
第4号	選挙管理委員及び同補充員の選挙	—
第5号	庄川右岸水害予防組合議会議員の補欠選挙	—
第6号	庄川左岸水害予防組合議会議員の補欠選挙	—

【請 願】

番号	件名	議決の結果
第1号	特定秘密保護法は施行せず廃棄を求める意見採択を求める請願	不採択

〔人事案件〕 教育委員会委員 織田 富子（新任）、宮原 三千代（新任）

監査委員 二川 昭（再任）、明神 英明（新任）

公平委員会委員 高藤 林藏（再任）

人権擁護委員 横山 登（再任）、青雲 乘英（再任）、矢野 熊（再任）

〔選挙の結果〕 選挙管理委員 藤田 良雄（再任）、波 政枝（再任）、後藤 勝則（再任）、長井 幸雄（新任）

選挙管理委員補充員 竹島 敦仁（再任）、平野 幹夫（新任）、高原 京子（新任）、山崎 毅（新任）

庄川右岸水害予防組合議会議員 濑田 孝吉（新任）、島 正己（新任）

庄川左岸水害予防組合議会議員 石黒 善隆（新任）

予 算 特別委員会

平成25年度 射水市一般会計補正予算

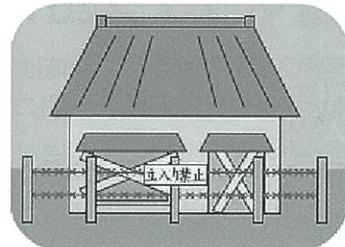
一般会計の歳入歳出予算に、それぞれ19億1,775万6千円を追加し、予算総額を429億6,832万5千円とする補正予算です。

【補正予算の主な内容】

- ◎老朽化した片口コミュニティセンターの移転新築を行うための経費
- ◎申請件数が見込みより増えた不妊治療助成費の増額
- ◎申請件数が見込みより増えた住宅用太陽光発電システム設置補助金の増額
- ◎射水市もみ殻循環プロジェクトチームが進めているもみ殻燃焼灰の肥料化に関する実証結果を踏まえた、もみ殻の利活用に関する特許出願手数料等の経費
- ◎市内全小中学校の体育館等の非構造部材のうち、吊天井の落下防止対策が必要な6校（小学校4校、中学校2校）で速やかに撤去工事等を行えるよう実施設計を行うための経費
- ◎平成26年度に予定していた射北・小杉中学校の耐震・大規模改造工事について、国の補助内示を受けたため今年度に前倒しして行うための経費

問 「空き家管理条例」の検討状況は。

- 答 「空き家の適正管理及び利活用に関する条例（仮称）」を検討しているところだが、現在、国において関連の特別措置法が検討されているところであり、その状況を注視している。その特別措置法の内容をしっかりと見極めた上で、矛盾しない内容の条例とする必要がある。順調であれば、次回3月議会において骨子を示すことができればと考えている。



問 地籍調査の現状は。市街化区域においても今後地籍調査を実施していく予定はあるのか。

- 答 正確な地図と台帳を整備するため地籍調査を行っている。現在は川口宮袋入会地地区、島地区、串田地区、生源寺地区で実施しているところである。市街化区域は、土地の取引等の流動化が求められる区域である。市としては当然市街化区域についても地籍調査を行いたいと思っているが、財産にかかわることであり、調査対象区域の土地所有者全員の同意と協力が必要であろうと考えている。それらが得られれば地籍調査を行っていきたいと考えている。



問 射水市には各種の審議会などがあるが、委員のうち、女性が占める割合はどれくらいか。

- 答 法律・条令・要綱等に設置根拠のある全ての審議会・委員会を合わせると、委員数は840人であり、そのうちの女性委員は278名で、割合は33.1%である。県全体の女性委員の比率は25.6%であり、県内では射水市が最も女性委員の比率が高い状況にある。

総務文教 常任委員会

議案3件をいずれも可決しました。

所管事務について5件の報告を受けました。

射水市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について

定年前の高齢職員について、地域ボランティア活動など地域貢献や加齢による諸事情等、勤務形態の多様化を図る観点から、本条例を制定するもの。

問 具体的にどのような状況を想定しているのか。

答 地域活動への参加や加齢による労務軽減のため、高齢職員の部分休業の取得を制度化するものである。対象は55歳以上、取得は5分単位とする。なお、休業のため無給である。

防災行政無線の整備について

災害からの住民の生命、財産を保護し、安全な生活環境を確保するため、災害に関する情報を正確、かつ迅速に収集・伝達し確実な情報伝達ができるよう防災行政無線の整備を図るもの。



整備概要は

答 市内全域を網羅するデジタル防災行政無線を整備し、新庁舎の統制設備により一括管理を行うため屋外拡声子局は現在の約2倍の109局、防災拠点用受信機は169個を避難所（学校、コミュニティセンター、市民病院など）に配置する。また、移動系無線機176個も整備する計画であり、整備費は約11～13億円程度、平成28年3月の運用開始を目指すものである。

富山マラソン2015について

大会の基本計画では、開催は平成27年11月1日（日）、午前9時に高岡古城公園〔スタート〕→新湊大橋→富岩運河環水公園〔ゴール〕、距離は42.195km、参加人数は約1万人を目標とする。



本市のコースと通過時刻は

答 市内コースは新庄川橋→庄川本町→（海岸線）→新湊大橋→七美→加茂であり、通過時刻は午前10時から午後2時を想定している。なお、富山マラソン実行委員会では、射水市エリアを「海と大地の恵み」と位置づけており、本市の魅力を発信するため、コース沿いでの、射水らしい食の提供やイベントの開催について今後、協議していくこととなる。

民生病院 常任委員会

議案5件をいずれも可決しました。

所管事務について3件の報告を受けました。



平成25年度射水市国民健康保険事業特別会計 補正予算（第3号）について

疾病予防費において、人間ドック受診者の増加により補助金に不足が生じるため380万円増額するもの。※被保険者が人間ドックを受診した場合、費用の6割を助成

問 高齢化に伴い、受診者の増加が見込まれる。補助制度の継続を願うが、今後の考え方について伺う。

答 健康に対する意識の向上から人間ドック受診者が増加し、当初予算計上していた460名分から650名分へ増額補正するもの。病気の早期発見、早期治療につながることから、補助制度は継続していきたいと考えており、今後も利用していただきたい。

問 来年度予算について、現状維持の予算額ではなく受診に関しての啓発を行い、予算枠を増やすべきである。

答 本市の国保運営は安定した状況にある。本来的な国保の役割は予防にあると認識しており力を入れていきたい。予算についても当面はご意見を反映する形で進めていきたい。

■平成25年度射水市病院事業会計補正予算(第2号)について

債務負担行為について、病院給食業務委託のほか8件の業務委託を設定するもの。

問 病院給食業務委託について、現在の調理場を使用しての委託ということか。

答 現在の調理場を使用するもので、調理業務を民間業者に委託する。施設管理については、市が行う。

問 県内150床以上の28病院のうち直営は3病院のみということだが、直営から民間委託に変更した病院の効果について調査されたのか。

答 数か所の病院へ出向き直接聞き取り調査をしたところ、委託によるメリットが大きいということであった。

■野手埋立処分所長期包括運営業務委託について

19年度から21年度の3か年で、浸出水処理設備の更新や遮水工の増設等の再生整備事業を実施し、より安全性・耐久性の高い最終処分場となった。今回、長期包括運営業務委託により、効率的で安定した施設の管理・運営を図るもの。

問 搬入時の現金収受の取り扱いや、埋め立て不可の廃棄物が搬入されやすくなるといった課題があるのではないか。

答 現在、様々な条件について詳細を記載した仕様書を作成中である。今後、委託内容や事業費の精査を行う。また、業者に対するチェック体制を確立していく。



産業建設 常任委員会

議案4件をいずれも可決しました。

所管事務について4件の報告を受けました。

■指定管理者の指定について

射水市営住宅等の指定管理者について、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

問 債務負担行為に3年間で6,900万円計上されているが、指定管理者が行う管理等業務の委託料と現在の市営住宅等の経費について伺う。

答 現在、年間約2,600万円であった経費が指定管理者に委託することで、約2,300万円となり、年間約300万円の経費の節減に加え、民間のノウハウにより、効果的・効率的な施設管理ができるもの。

■射水市魚職人育成アカデミー事業について

近年、後継者不足などから、寿司店や魚を提供する日本料理店が減少傾向にある。このような状況の中、魚職人を目指す方に、店舗において働くながら技術や経営等を学んでもらい、将来、射水市で独立・創業し、地場食材を生かした新鮮な魚を提供できる料理人を育成しようとするもの。

問 魚職人は、補助期間2年で育成するのは難しいと考えるが。

答 店舗に対し魚職人を育成するために支援する期間は2年間であるが、その後も引き続き育成をしていただきたい。この事業をきっかけに魚職人を目指す人材の発掘、新鮮で美味しい店舗の維持・増加、業界の活性化なども期待したい。そして、射水の「食」の魅力を内外にアピールしていくことも目的のひとつである。ぜひ、皆さんの協力をお願いしたい。

■(株)プレステージ・インターナショナルの進出概要について

黒河・池多地内(旧JET駐車場跡地)に平成27年4月操業開始を予定している大型コールセンターは、第1期操業開始までに150名の採用を見込み、その後、社屋の増設等(寮や託児所)を検討し、最終的には1,500名の採用を見込んでいる。

問 平成27年4月の操業開始には150名でスタートするとあるが、採用状況や研修などについて伺う。

答 すでに説明会を実施し90名ほどの参加があり、現在11名(うち市内6名)の採用内定があると聞いています。採用計画については当初、幹部候補を採用し、事前に研修を行い、今後、毎年150～160名を採用し、5～6年で約1,000名を順次募集していく。市内の方の雇用について、積極的に働きかけていきたいと考えている。詳しくは、港湾・企業立地課に問い合わせていただきたい。



行政視察を受け入れています。

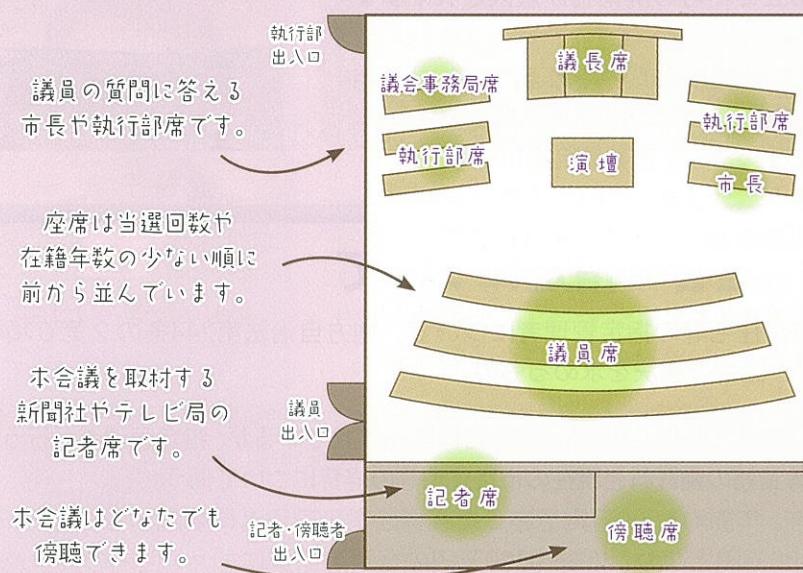
射水市議会では、各種事務事業について議会関係者の皆さまから行政視察の受け入れを行っています。11月以降、5議会が当市議会を訪れました。

月日	視察訪問議会	人数	調査事項
11月 5日(火)	富山県砺波市議会	10名	デマンドタクシーについて
11月 6日(水)	千葉県印西市議会	9名	部長の政策宣言について
11月 7日(木)	愛知県豊橋市議会	2名	アイザック小杉文化ホール 視察
11月15日(金)	福岡県柳川市議会	1名	射水市新庁舎建設について
1月15日(水)	富山県砺波市議会	6名	クリーンピア射水 視察

“こちら議会事務局”

議場ってみんなトコ

射水市議会の本会議は新湊庁舎3階にある議場で行います。



議場全体

編集後記



石黒 善隆 議会広報編集副委員長

平成25年11月改選により新しい射水市議会が発足しました。今回から議員定数が4名削減され、新たな22名の議員が選出されました。これまで以上に市議会議員として市民の皆様の負託に応えるべく役割を果たしていくかなければならないものと意を新たにしているところです。

また、市民の皆様には、議会だよりや議会の傍聴などを通じ、射水市の動きにしっかりと目を向けていただければ幸いです。

議会広報編集委員は1年ごとに交代し、年4回の射水市議会だよりの編集を行ってまいります。今号から、私たち8名の委員が皆様に市議会の内容を分かりやすくお伝えし、親しまれる広報誌を目指し紙面づくりに努める所存です。今後ともご意見ご要望をお寄せください。



[委員長] 四柳 允 [副委員長] 石黒 善隆 [委員] 奈田 安弘、伊勢 司、津田 信人、山崎 晋次、高橋 賢治、中村 文隆

次の定例会は3月

会期日程は、決定次第
ホームページに掲載いたします。

くわしくは、議事調査課
(Tel: 82-1950) までお問い合わせください。

議会を読もう



いみず市議会だよりは、
2月、5月、8月、11月に
発行します。皆さんの生活
に密接に関わる議会の活動
を身近に感じてください。

議会を見学しよう



射水市議会では皆さんの
傍聴をお待ちしています。
ご希望の方は、議会開催日
に新湊庁舎3階議会事務局
までお越しください。